
少女論

或斗 知雫

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

少女論

【Nコード】

N7963U

【作者名】

或斗 知雫

【あらすじ】

或斗 知雫の日常的な何かを小説化したらある1人の少女の倫理に辿り着いた

はじめに

どうも、おはようございますorこんにちはorこんばんわ
この作品が初めての方には初めまして
作者の或斗 知凩です

今回の作品は衝動から生まれたものです
2011年7月11日、学校に遅刻はしましたが
教室から見える桜の木にまた会うことができました
その時、その桜に変化を見たことが始まりでした
それは第1話として書いてありますのでご覧ください

書きっぱなしで全然進まなくて消去してしまった
？これは僕の過去の記録。？をご存知の方は
「その代わりになる小説また書きます」とリアルタイムで宣言して
いたので…
それだと思ってくださると喜びます↑

今回の知凩ワールド、1作品目とは少し異なっていますが
やっぱり僕は僕！ということで、表現はそんなに変わっていないか
と（笑）
では…ある1人の少女の倫理へとお進みください

* 或斗 知凩 *

桜の木

私は今、窓側の列の1番後ろの席。
中学3年の夏、勉強面では最悪なくじを引いてしまったものだが…

この学校のつくりは北側に本館、それに東館と西館、
そして校舎に囲まれて中庭、となっている。

中庭には桜の木が植えてある。それも結構大きな桜。

この教室は西館の2階、桜の木の枝が窓際まで迫っている。

私たちが初めて教室に入った時、桜の花弁が舞い込んでいたのを覚えて
いる。

「進級おめでとう」とでも言っているかのように、桜は満開だった。
今はもう葉桜の時期も過ぎ、緑が鮮やかになっている。

私は進級時からこの桜を見ていた。

ただ今日は桜の表情がいつもと違って見えたのだ。

何故だろう？ 君はいつもこんな表情かおをしていただろうか？

不思議に思っ**て**しばらくの間、先生の話も聞かず、ずっと桜を見つ
めていた。

そして気が付いたことは、陽が陰るといつもの表情に戻ることに。

そうか、今日は少し日差しが強いのか。きっと君は嬉しかったんだ
ろう？

だって、君の鮮やかな緑が、少し金色に染まっているんだもの。
光合成の色。美しい、桜と太陽の重なった色。

今日の桜は、微笑んでいた。

君のおかげで、桜の木が好きになれたよ。

少女の恋

今日はなんだか空が暗い。風も少しある。午後は夕立なのだろうか。

そういえば、昔にロマンチックな話を聞いたことがあったっけ。

「海は空に恋をして、空と同じ青になったんだよ」っていう話。結構よく聞くのかもしれないけれど…私には不思議で仕方がないのだ。

？ならば空が曇れば海の色も曇るのでは？？

だって、海は空に恋をして同じ色になった。

だとしたら曇りの色も映るはず、と思うからである。

…まあ実質、少しは映っているのだけれど。

この時期になってくると海を思い浮かべることが多くなる。

そろそろ1学期も終わり、夏休みに入ろうとしている。

そういや今年は家族で広島に行くって言ってたっけ…

そんなことを思いながら友達に借りた小説を読んでいた。

3時間目。小説もすべて読み終わり、ノートも書かず暇していた。

今日は塾が早めに終わる日か…終ったら何しよう、と計画を立てながら。

4時間目。曇りに曇った空からは、雨が降り始めていた。

この授業が終われば帰れる。傘がないから早めに帰らないと…

何故だろう、私の脳内は空と海の恋物語の内容を詳しく考えようと
しているのだった。

…どうしてもやっぱり、自分の想い人が頭に浮かんで消えなくなる。
寝ようとして目を閉じてても、やっぱり彼の笑顔が^{まぶた}瞼に映っている。

「…大丈夫か、お前…」

前の席の男子にそう言われたのは、私が落ち着かなかったからだろ
うか。

今日は曇りのち雨、私の心は晴れている。

少女の恋（後書き）

最後の方の男子の台詞は僕が作りましたw

…あいつが言いそうだなあと思ったんですよ…

2学期、来たり。（前書き）

久方ぶりの少女の姿が、今日の教室の一角にいた。

そう、あれからしばらくの間で夏休みが過ぎ去っていったのである。

2学期が始まり、1週間ほどが経っていた。

今日はなんだか憂鬱な様子である。

2学期、来たり。

頭を左に向け、ちらと窓の外を見る。

例の桜の木の葉が、少しだけ黄色く色づいている部分がある。

授業中であるが、最近買った小説「神様のカルテ」を読んでいる。

作者の夏川草介先生。文章の書き方…僕は好きだ。

今は最終話である第三話・月下の雪を読み始めたところである。

——ところで。

一つ深呼吸をして教室をぐるりと見回してみる。

教室の中は個性の終結体のようになっている。

ちらほらと机に突っ伏して寝ている男子がいて、先生に何度か起こされる。

真面目に授業を聞く人が大半で、黒板とノートを交互に見てお勉強。そういう僕はというと…こうやって？少女論？の原稿を書き上げている。

もちろん、神様のカルテを読むのも同時進行である。

読んで書いてのピストン状態で暇を持て余している。

ああ…歌いたい…

（備考：少女の趣味は絵を描くこと、小説を読むこと・書くこと、歌うこと）

ストレスが溜まってくると歌いたくなる。

歌うことは楽しくて、笑顔になれるし他人をも笑顔にできる。

そういうものだとして理解している今の僕だ。

みなさん、こんな僕でも生きてられる地球。

僕が生きれるということは不思議な世界だということ。

みなさんが生きることより僕が生きることより大切だと思うんです。こんなことを書くのは… ニュースで知った事件が背景にあるから。

元アイドルグループの女性が自宅で自殺未遂。

精神安定剤を大量服用し、リスカ。

悲しいことです。

僕も去年ぐらいに思いつきり病み期に入りましてね…

リスカしようかと思って近くにあったはさみを手首に当てたんです。でも、できませんでした。

やっぱり大事なものがありませんでした。

こんな僕でも仲良くしてくれる友達や仲間がたくさんいて。

だから、世界中の人たちにも自殺なんて考えて欲しくないんです。

だからこそ、僕は他人を笑顔にできる歌を歌います。

来年ぐらいからです。動画サイトに投稿するつもりです。

僕の歌で誰かを救えるかはわかりません。

でも、歌います。

それでも、誰かを救いたいから。

誰かの気持ちを、心を守りたいから。

こんな気持ちが伝わればいいな。

そして僕と同じように誰かの為になりたい人がいれば。

何か行動してみてください。

自分の中で何か変わるかも。

誰かを救える人になれるはずです。

たくさん救えなくても、少しでもいいんです。

どこか見えないところで助けて欲しいと叫んでいる人。

そんな人たちを救ってあげてください。

僕も一緒に頑張ります。

世界が平和になれる日がいつかやってきますように。

少女の変化（前書き）

今回は、少女から手紙が届きました。

少女の変化

皆さん、お元気ですか。お久しぶりです。
前回から月日が経ちまして、もう11月になりました。
風邪、引いてませんか？心身ともに、お氣をつけて。

ところで、あれから様々な変化がありました。
まず、10月21日の合唱コンクール。
クラス全員での努力が実り、3位に終わりました。
そのお蔭で、団結が強くなりました。

その1週間後、10月28日の文化祭。
学年発表の朗読劇で、画面を映すコンピューター操作係を務めました。
た。

皆に「お疲れ様ー」とか「よかったよー」って言うてもらえました。
その時の達成感で今の私は動いているのかも。

次の日、10月29日の土曜参観の後。
文化祭の作品展示で、教室に数名の部員と引き籠ってました。
皆と騒げてよかったなあ…。
これで引退。楽しかったです。

そして月が変わって11月3日、文化の日。
合唱コンクールの打ち上げでした。
18人でのカラオケ、うるさかったなあ（笑）
5組大好きって、本気で思えました。

それと…結構前の話になりますが、
席替えで教室の隅から真ん中辺りになりました。
好きな人も変わってしまいました。
しかも目の前にいます…。死にそうっ／＼
…ま、まあそういうことです…

では、そろそろ終わりますしょうか。
あでいおす(。・ω・)ノ”

少女の変化（後書き）

とか言っときながらまた席替えしましてね…
席離れましたよ！くそう（´・ω・｀）↑

…バカ。

私、最近まともにノート書いてないです。

書いてる小説が増えたことと、好きな人を見つめることに夢中になっているからです。

ちょっと見つめにくい角度だけど、好きだからいい。

何時間でも見ていられます。（ただのノロケw）

増えた小説が恋愛モノだから、余計に彼が気になって見ちゃうんでしょうね。

ちょっと猫背なのがいいんです。

身長が凄い高くて、机が小さいんでしょうね。

ノート書いてる時の真剣な目がかっこいいんです／＼

で、たまに周りの人と喋ってる時の笑顔／＼／

えくぼがまたいいんですよ…！！↑バカ

んで、微妙に制服が乱れてんのがいい！！↑変態

うち学ランなんですけど、学ラン脱いでカッターシャツの時間が一番好きです（´Д`＊）ハアハア

シャツインが規則なんだけど出したり。

カフスボタン（？）を外して腕まくりしたり。

その腕の筋肉の付き具合とか最高…っ／／／

で、だるそーにだらーんってしてる時に見える手！！！

スゲーきれいなんです！大きいし！

…触りたい…↑

にぎにぎしたいっ↑バカ

左利きなんですよ。（どうでもいい。）

なでなでされたいんですね、その左手に（笑）

で、じーって見てたら危険なんですよね。

…気付かれるから。（当たり前っちゃん当たり前っスよね）

目が合う前に目を逸らすんですけど、ちょー恥ずかしいノノ

とか言いながらガン見しちゃうんですね、私。

…もー…気付けー…バカー…。

… バカ。(後書き)

11月21日 月曜日

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になろうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能^{たんのう}してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n7963u/>

少女論

2011年11月29日14時47分発行